

令和3年度第1回東松島市総合教育会議議事録

日 時 令和3年8月19日（木）午後3時から午後4時15分

場 所 東松島市役所 3階 301会議室

出席者 東松島市長 渥美 巖  
東松島市教育委員会 教育長 志小田 美弘  
東松島市教育委員会 教育委員 木村 和彦  
東松島市教育委員会 教育委員 福田 ゆかり  
東松島市教育委員会 教育委員 鹿野 あい子  
東松島市教育委員会 教育委員 松岡 勝久

傍聴者 2人

次 第

1 開会

2 あいさつ 東松島市長 渥美 巖

3 議題

(1) 報告事項

- ①市内小中学校施設整備計画等について
- ②幼保小連携の取組について
- ③学校給食費について

(学校給食費管理システムの導入について、県内の給食費の状況等について)

(2) 協議事項

- ①タブレット端末を活用した学習の取組について
- ②（仮称）東松島市子ども条例の制定に向けた検討について
- ③中学校入学時の経済的負担軽減（夏用運動着）について

(3) その他

4 閉会あいさつ 東松島市教育委員会教育長 志小田 美弘

5 閉会

事務局 ただ今から、令和3年度 第1回東松島市総合教育会議を開会いたします。開会にあたり、渥美市長よりご挨拶を申し上げます。

渥美市長 皆様、大変お忙しい中、令和3年度第1回東松島市総合教育会議に委員の皆様お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

令和3年度になっても新型コロナウイルス関連が一番の関心事と言いますか、悩み事になっています。昨日も5人本市から感染者が出ており、全部で144人の感染者が出ている状況です。また宮城県につきましては、明日から仙台市以外の地域も、まん延防止が、県内一斉に始まりまして、9月12日まで防止期間となります。これにより市内の飲食店などは、夜8時までに閉めていただくこととなりますし、酒類は夜7時までの提供となります。皆様の協力をいただきながら、コロナを収束させることが一番大事となりますので、徹底していきたいと思います。また、間もなく学校が夏休み明けで再開されます。現在のウイルスは、従来よりも感染力が強いとされており、見えないだけに非常に心配しています。2学期スタートして、何としても子どもたちには感染者を出させないよう、教育委員会と一体となって感染予防対策を進めてまいりたいと思っております。

令和3年度となり、東松島市第2次総合計画後期基本計画がスタートしております。この中で、令和7年度までの計画をそれぞれ掲げており、まちづくりの将来像として「住み続けられ持続・発展する東松島市—地方創生のトップランナーをめざす—」としております。人口減少として、国勢調査の結果として発表されたものを見ますと、本市は県内では減少率が低く、かなりよいほうではないかと思っておりますが、減っているところではあります。また、旧鳴瀬地域は過疎地域に指定されまして、約40年間で約34%人口減少となっていることが、一番の課題となっていると思います。今後は過疎法に基づき、様々な過疎対策にしっかりと取り組み、持続発展できるようなまちにしていきたいと考えています。

子どもに関するまちづくりの基本理念としまして、「地域全体で支える学びと子育て環境の充実」は、大きな三つの基本理念の一つとしています。まちづくりの方向性としては、「時代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち」として、1子どもたちの可能性を広げ伸ばす学力の向上、2地域と一体となった豊かな心の育成と生涯学習の推進、3文化の継承と創造、4全世代にわたるスポーツの振興を柱として進めていきたいと思っております。特に私としては、1子どもたちの可能性を広げ伸ばす学力の向上として、学びの環境を良くしていきたいということで、エアコン整備は、他自治体に先駆けて完了しているところですし、ICT環境として電子黒板も整備を行いましたし、一人一台タブレット端末についても、GIGAスクール構想として整備いたしました。これらを活用しながら、家庭と学校が一緒に進めていってほしいと思っております。また、学習時間の確保として、夏休み期間を短縮してきた経緯がありますが、今年で3年になりますので、だんだん定着してきたのではないかと思います。子どもたちの環境については、これからもしっかりと整備したいと思っております。

本日の報告にあります学校給食費について、私は学校給食については、手間をかけて美味しいものを提供するという一方で、栄養面も確保し、市内の良い食材などを提供す

ることも大事と思っております。昨年度は10円程度値上げしており、県内平均となっております。徴収した費用は、給食費の材料費のみに充てておりますので、皆様から来年度、再来年度に向けて意見交換したいと思えます。

また、協議事項の子ども条例についてですが、私と教育長がよく話すこととして、教育委員会としては学びをしっかりとし、人づくり人間形成を基本とするというところを学校で行っておりますが、議会からは学力向上として県内平均以上としたいというところがあり、これを見えるかたちにする必要があるのではないかとこの声もあるので、教育委員の皆様からご意見をお受けし、できれば12月議会へ上程したいと思っております。

最後に、中学校入学時の経済的負担軽減として、中学校へ入学する際には結構な金額が必要になります。私としては、スポーツ健康都市宣言もしている中で、支援できるものがないかと思い、できれば夏用運動着を支給してもいいのではないかと考えており、実際に支給するとなると12月議会には予算計上して、来年4月に支給する際は、新1年生だけにするか、初年度のみ2年生3年生まで支給して、その後は、毎年新1年生だけに支給することがいいのか、皆様からご意見をいただければと思っております。次世代を担う子どもたちは、東松島市の宝でありますし、未来を切り拓く大切な存在であると思っております、私としては可能な限り子どもたちの教育に関する予算については、最優先で確保していきたいと常々思っておりますので、本日は限られた時間となりますが、ぜひ教育委員の皆様から、ご意見をいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局 本日の出席者については、次第裏面に名簿を添付しておりますので、ご確認をお願いいたします。それでは議題に入ります。本日の議題は、報告事項3件、協議事項3件となっております。ここからは、東松島市総合教育会議運営要綱の規定に基づき、渥美市長を議長として進行してまいります。渥美市長よろしく願いいたします。

渥美市長 それでは、要綱の定めるところによりまして、議長を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。早速議題に入ります。お手元に配布の次第に沿って進めます。はじめに、議題（1）報告事項、①市内小中学校施設整備計画等について、②幼保小連携の取組について、③学校給食費について、一括して事務局から報告いたします。

事務局 教育委員会から資料（P1からP7）の説明。

木村委員 市内の小中学校施設整備計画についてですが、毎年整備をしていただきありがたいと思っております。これらの工事ですが、市報等に掲載して、市民の方々へ広くお知らせすることはいかがでしょうか。近所の方から、工事はいつまでですか、などと質問を受けることが多いので、お知らせしていただければと思えます。

事務局 市報について、市民生活に関する情報を掲載することとしておりますので、今後、教育委員会と協議しながら周知を図ってまいります。

渥美市長 その他なければ、協議事項に入ります。①タブレット端末を活用した学習の取組について議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局 教育委員会から資料9ページから10ページの説明。

渥美市長 ただ今の説明に対して、何かご質問ございませんか。

松岡委員 時代の移り変わりは素晴らしいもので、我々の時代にはなかったタブレットというものを小学生も使っているということで、市長には早々にご用意いただきまして、ありがとうございました。全国の学校で半分に満たないところが持ち帰りをしていないという中で、本市の教育委員会は持ち帰りを積極的に推奨している理由をお聞かせいただきたいと思います。

志小田教育長 基本的に触ることで習熟する、スキルを上げるということに尽きると思います。夏休み期間もせつかくの機会ですから、持ち帰ってもらってぜひ活用してもらい、2学期から始まる授業に活かしていただきたいという考え方です。

松岡委員 ありがとうございます。今後、紙媒体の教科書がおそらくなくなっていく時代が来るだろうと私は思います。そういう中で、今年度から始まったタブレットの利用により、早めに慣れて使いこなせることは、今後仕事でも役立つことになると思われしますので、我々教育委員会としても積極的に、皆さんに活用していただきたいなと思っております。

渥美市長 先生方の研修についても、市として積極的に行っております。補足を事務局からお願いします。

事務局 教職員の研修について説明いたします。これまでも定期的に代表の教員を集めての研修や、オンラインを使用して全教職員が見れるような研修を取り入れているところですが、本市ではGIGAスクールサポーターを2名採用しております。このGIGAスクールサポーターによる毎月1回以上の定期的な研修を学校のリクエストによって日時を決めて、校内研修として行われております。いずれにしても、教員も触らないと慣れませんし、指導力向上が図れませんので、今後とも研修の機会は大事にしていきたいと思っております。

渥美市長 ほかの委員さんから質問はありませんか。

福田委員 資料10ページの家庭での活用例1の点線囲みの中に、担任や友達とのコミュニケーションとありますが、具体的にタブレットを使ったコミュニケーションとはどのようなことを考えているのかお聞きしたいと思います。

事務局 例えば何らかの理由により、学校を長期間休まなければならない児童生徒が出てくることが考えられます。その際にオンラインを使いまして、担任の先生と家庭にいる子どもを繋いで、学校での出来事や授業の様子を見せながら、学校と子どもを常に繋げるような環境を整えることを考えております。

木村委員 学校の出欠について、休みの連絡等についてもこのタブレットは使えるものですか。

事務局 家庭との連絡について、機能としては利用できるようになっております。これから、実際に活用できるよう研究を進めていくところですので、将来的にはこれらを活用して家庭とも繋がっていければと思っています。

渥美市長 その他ございませんか。なければ協議事項②（仮称）東松島市子ども条例の制定に向けた検討について、事務局説明をお願いします。

事務局 保健福祉部から資料11ページから12ページの説明。

渥美市長 委員の皆様からご質問はございませんか。

鹿野委員 市議会の議員さんからは、学力向上や子どもの教育に力を入れているまちとしてアピールすべきとの提案や、子育てに関する基本理念、行政、地域社会等総ぐるみで子どもたちを見守っていくことが必要などのご提案をいただき、条例を制定することになったということですが、その条例を制定するにあたって、最も重視していただきたいことは、子どもの権利条約にあります、子どもにとって最も良いことを頭に入れて条例制定していただければと思います。そうすることで、議員さんから、学力向上のことや地域社会総ぐるみで子どもたちを見守ることも全て入ってきますので、ぜひお願いしたいと思います。

渥美市長 条例制定する際には、子ども中心に権利条約等も踏まえて、しっかりと制定してまいります。

鹿野委員 以前教育委員会から、他自治体の例として、福島県の資料を見せていただいたことがありました。それは、子どものえがお条例というのがありまして、笑顔にするためにはこういうことをすればいいのかと皆さんが具体的に頭に浮かぶと思います。ただ、条例といいますと、どこから進めていけばいいのかとなりかねないので、子どもにとって一番良いことを頭に入れて進めていただきたいと思います。

事務局 条例制定をする上で、子どもの権利や人権は重要ですので、必ず盛り込んでいくようになると思います。また、虐待やいじめ、不登校等の課題については、家庭の事情等によるものもあるかと思っておりますので、全ての子どもが対象となるような条例制定を進

めてまいります。

渥美市長 その他にありますか。

松岡委員 子ども条例は12月上旬予定とのことで、様々な意見を交わしておりますが、条例の趣旨を見ますと、地域全体で支える学びと子育て環境の充実、子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち、次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまちということで、既に実現していることだと思います。条例制定は、既にやっていることを今後、後世に伝えていくということで、言葉として具現化する作業だと思います。我々はコミュニティスクールで、地域支え合いを作っていますし、地域と学校とみなさんとの支え合いは、東松島市では既に存在しているもので、これをどう伝えていくかが肝になります。それを成し遂げた上で、成績向上が結果としてついてくると思いますので、その辺りを踏まえて条例制定をお願いしたいと思います。

渥美市長 この条例については、今説明した保健福祉部と最終的には教育委員会も大きく関わることとなります。これらについて、教育委員会からの意見を教育長お願いします。

志小田教育長 まさに資料にある趣旨に尽きると思います。子どもたちの育ち、成長を皆で支えていくことが条例になると思います。それぞれに役割もあり、学校には学校の役割があり、確かな学力を保証する、向上に努める、学力だけではなく、豊かな心を育む、たくましい身体を育むということは、学校だけでは難いため、地域の出番があったり、家庭では様々な苦しさ困難さがある場合もありますので、皆で補完し合いながら、オール東松島市で、それぞれの役割をしっかりと果たし合いながら子どもを支えていくことが条例の肝になると思っています。関係部署と連携しながら進めていきたいと思っています。

渥美市長 その他なければ、協議事項③中学校入学時の経済的負担軽減（夏用運動着）について、事務局説明をお願いします。

事務局 教育委員会から資料13ページ説明。

渥美市長 夏用運動着は何着あってもいいと思いますので、初年度は全中学生へ支給し、次年度以降は新1年生への支給とする方向がいいと思っていますが、委員の皆様からご意見をいただければと思います。

松岡委員 補助していただくことは、保護者としては大変ありがたいことだと思いますので、ぜひ進めていただければと思います。

渥美市長 他にご意見はございませんか。なければ、本日本日予定している議題は全て終了いたしましたので、その他としてご意見あればお受けいたします。

木村委員 スポーツ健康都市宣言をされましたが、現在コロナ禍でなかなか難しいとは思いますが、今回オリンピックがありまして、スポーツの素晴らしさを実感したところだと思います。トップアスリートと子どもたちが接する機会があるといいかなと思います。今年度の中体連も子どもたちがすごくがんばっていたようですが、トップアスリートの誘致といいますか、接する機会を多く設けていただければと思いますが、市長のお考えはどうでしょうか。

渥美市長 本市としてはスポーツ健康都市宣言を行い、今年度から特に力を入れていることは、全国大会、東北大会以上のものを積極的に誘致するよう指示しています。2日間以上の大会を誘致した場合には、会場使用料は減免扱いとし、これが本市における経済効果にも繋がるものと考えています。また、先日はデフサッカーの全日本クラスの合宿を2団体受け入れております。今後、大学の合宿なども積極的に誘致するよう指示しております。トップアスリートとの交流については、それぞれの選手が所属する会社等に来ていただけたらと思っております。現在、楽天との連携を進めており、奥松島運動公園の野球場に楽天の名前を使っただき、楽天の様々な事業をそこで行っていただくような流れを作って、子どもたちがトップアスリート接する機会を設けるよう努めています。

事務局 補足といたしまして、現在小中学校で推進している事業をご説明いたします。オリンピックパラリンピックムーブメント全国展開事業といたしまして、スポーツ庁主催の事業があり、矢本第二中学校が推進校として指定を受けております。現在の計画の中で、気仙沼市出身の千田健太選手が10月13日に、矢本第二中学校の1年生を対象にした講和を計画しております。また、東レさんからは、継続して今年度も矢本西小学校でバレーボール教室ということで、大山加奈選手などとの交流や学びの場を計画しております。

渥美市長 千田健太選手はフェンシングのオリンピック選手ですし、大山加奈選手は毎年バレーボール教室を行っていただいております。このような選手との交流の機会は設けていきたいと思っておりますし、7月に東日本大学女子ソフトボール選手権大会が本市で開催されましたが、コロナ禍で子どもたちが見に行くことができませんでした。そういうことは非常に大事だと思いますが、今回はできませんでした。今後はこのような機会を捉えて交流等を行っていきたいと思っております。その他、ありますか。

鹿野委員 先日、健康推進課の管理栄養士から東松島市食育計画の説明を受け、農林水産大臣賞の受賞を市内団体が受けていると聞いて、家に帰ってから資料を再度見ましたら、非常に見やすく食材レシピも詳しく記載されており、とてもよい冊子だと思えました。また、健康推進課と生涯学習課と学校給食センターの連携で、動画を配信していますが、その中に矢本第一中学校のコンピューター部も編集に加わるなど、素晴らしいことですので、どんどん進めていただきたいと思います。

渥美市長 本市の食育関係は、食育推進協議会の会長などが中心となって、大変一生懸命取り組んでいただいています。子どもたちの肥満傾向の数値は高い方にありますが、食育は将来の健康づくりに役立ちますので、関係者と連携して、ぜひ今後の進めてまいります。その他、ございますか。ないようであれば、議長の職を解かせていただきます。

事務局 それでは、閉会のあいさつを志小田教育長にお願いいたします。

志小田教育長 長時間にわたり、様々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。総合教育会議は、市長と教育委員会が協議によって、教育施策の方向性を協議して、的確に進めていく会議であります。来週からは2学期が始まりますが、現状から危機意識を一段と上げてスタートしなければならないコロナ禍の状況ではありますが、本市の掲げる、子どもたちの可能性を広げ伸ばす教育をしっかりと進めてまいりたいと思っております。本日は、誠にありがとうございました。

事務局 以上をもちまして、令和3年度第1回東松島市総合教育会議を閉会いたします。